

安心・安全な水の 広川の負担金は？

～議会視察報告～

2021年11月29日、全議員で小石原川ダム、
県南広域水道企業団荒木浄水場を視察しました。

小石原川ダムは2021年10月に本格運用を
始めたばかりです。筑後川流域、県南地域の「
水道水確保」などを目的とし、その水は筑後川に
注ぎます。

ダム建設の負担金など紹介します。



小石原川ダム



江川ダム



寺内ダム

大山ダム

筑後川

東櫛原取水場

県南広域水道企業団荒木浄水場



藤山配水池

送水管を太く
しました。

一部送水管を新設し、
2本にしました。



送水管の増設・拡大
によって、水圧も上
がりました。



清楽茶屋配水池

水源ダム建設に対する広川町の負担は？

	事業費	令和3年度 負担額	負担金残額 (令和4年度以降)	負担期間
小石原ダム	1億1,487万円	594万円	1億421万円	20年間 (令和2～21年度)
大山ダム	1億5,663万円	816万円	1億1,425万円	20年間 (平成28～令和17年度)
計	2億7,150万円	1,410万円	2億1,846万円	

企業団からの送水管増径に対する広川町の負担 (出資) は？

	事業費	令和3年度 負担額	負担金残額 (令和4年度以降)	負担期間
構成12団体総額	151億9,330万円	3億6,580万円	5億570万円	令和4年度終了
うち広川町分	7億3,630万円	1,400万円	1,670万円	